



地域おこし協力隊って？

都心部から人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方へ移住し、地域の新たな担い手として農業・事業承継・情報発信などの「地域協力活動」を行いながら、地方への定住を目指す取り組みです。任期はおおむね1～3年。小坂町では現在3名の隊員（熊澤圭祐、猪野直子、石橋辰耶）が活動しています。最近の活動内容を紹介いたします！

◆今年の新酒「ヌーヴォー2024」

11月に入り小坂町は秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じるようになってきました。もうすぐ、雪の季節がやってきます。

11月6日、「小坂七滝ワイナリー」では、12月1日より発売予定の今年の新酒「ヌーヴォー・ロゼ 2024」の瓶詰めが始まり、スタッフが作業に追われていました。熊澤圭祐隊員はワインを瓶に充填する作業、石橋辰耶隊員は箱詰め作業を担当。ワインの芳醇な香りが漂う中、忙しく動いていました。

ヌーヴォー・ロゼは「ウィングランド」という山ぶどう系品種のフリーラン果汁（ぶどう自体の重さで滴り落ちる果汁）から作られています。今年のウィングランドは甘味も酸味も申し分なくとてもいい品質で、ヌーヴォー・ロゼも、爽やかな酸味のある、山ぶどうらしいキレのある味わいに仕上がっているそうです。今年のヌーヴォーはロゼとルージュの2種類。まもなく「ヌーヴォー・ルージュ 2024」の瓶詰めも始まります。

石橋隊員は小坂町での暮らしが3か月目に入り、熊澤隊員によると「すっかり小坂町民。僕が行ったことのない店にも行っている」とのこと。各地の温泉にも通っているそうです。



「小坂七滝」やワイナリーのぶどう園にも冬の気配



あざやかなローズピンク！



開けやすいスクリューキャップです



気持ちよさそうに洗われる瓶たち

◆Aターンを支援する「あきた就職フェア in 東京」

10月27日、Aターン（Uターン、Iターンなどあらゆる種類の秋田県に移住しての就職のこと）を支援するマッチングイベント「あきた就職フェア in 東京」が東京・浜松町の東京都立産業貿易センター浜松町館で開催されました。秋田県の約70社の企業と10自治体の出展があり、小坂町からは担当職員と猪野直子隊員が参加。秋田県での就職を検討されている方々と交流し、個別の面談などを行いました。

事前に特定の企業や自治体との面談を予約されている来場者のほか、会場で気になった企業や自治体のブースを数多く訪れて情報収集をされる方なども多くいらっしゃいました。小坂町のブースに貼られているポスターを見て「本当にこんなすごい街並みなんですか？」と声をかけてくださったり、「小坂町にはまだ行ったことがない。どんなところですか？」と尋ねられることも。「自然豊かで穏やかなところで働きたい」という思いの方が多くいらっしゃるのを感じました。



◆協力隊のInstagram 始めました！

11月1日より小坂町地域おこし協力隊 Instagram の運用を開始しました。Instagram とは写真や動画の共有ができる SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）のひとつで、手軽にすばやく「今の情報」を投稿し、スマートフォンやパソコンで見ていただくことができます。

今後は、3人の協力隊員の日々の活動について、Instagram 上でできるだけフレッシュにお届けしていきたいと思いますので、よろしければこちらのフォローもどうぞよろしくお願いいたします。

QRコードで追加
もしくは検索で追加を！



@KOSAKAKYORYOKU



「小坂町地域おこし協力隊かわら版」はおおむね毎月15日ごろにゆるく発行予定です。みなさんの小坂町での暮らしや取り組み、イベントなどの情報をお知らせください！

編集・発行 小坂町総務課企画財政班（地域おこし協力隊 猪野） 0186-29-3907